

神戸支部の先生方、ぜひご参加ください

兵庫県保険医協会設立40周年記念 第41回総会のご案内

6月14日(日)午後1時～／神戸国際会議場3階 国際会議室
(ポートルライナー「市民広場駅」から徒歩5分)

- 総会議事 午後1時～
2008年度会務報告、2009年度活動方針案、
2009年度予算案、役員承認の件、ほか
- 記念式典 午後2時20分～
- 記念講演 午後3時10分～

「医療における倫理とその実践」

京都大学名誉教授先端医療振興財団臨床研究情報センター
センター長兼研究事業統括
福島 雅典 先生



プロフィール
【ふくしま まさのり】 医学博士。1973年、名古屋大学医学部卒業。名古屋第二赤十字病院、京都大学大学院、浜松医科大学助手などを経て、2000年に京都大学大学院医学研究科薬剤疫学教授。2009年4月から現職。

◇記念懇親会 午後5時30分～ (参加費不要) ポートピアホテル 大輪田の間

兵庫県保険医協会 TEL078-393-1801 FAX 078-393-1802

FAX 078-393-1802

兵庫県保険医協会設立40周年記念 第41回総会に

出席します

欠席します

議事を議長に一任します

記念講演に参加します()人

記念懇親会に参加します()人

(地区) (お名前)

兵庫県保険医協会 神戸支部ニュース

217号
2009年5月25日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31 神戸700生命海岸通ビル5F
兵庫県保険医協会神戸支部 TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

神戸支部接遇研修会

ロールプレイで実践的に学習



医師・歯科医師・スタッフなど82人が参加し窓口対応など学んだ

神戸支部は5月9日に、大阪国際大学短期大学部教授の油谷純子先生を講師に職員接遇研修会「接遇の心得とクレーム対応」を開催し、34医療機関から82人が参加した。

講師は「患者は目に見えた情報から信頼を得る。接遇は信頼につながり、患者の満足につながる。危機管理、イレギュラーな事柄に充分対応できる知識と経験をもつことが大切」と

し、接遇の必要性、受付や電話での対応を解説した。クレーム対応では、「相手の自尊心を傷つけないことに気をつけながら、自分で頑張りすぎず、一人で解決しようとしないうこと」と指摘し、実例を挙げて留意点を紹介した。参加者から、「わかっているけど、普段うっかりしてしまっていたことを考えさせられた。接遇は奥が深い」などの感想が寄せられた。

神戸支部の先生方へ

近隣の先生の休診・入院などの情報がありましたら、協会事務局(078-393-1817)田村までお知らせください。

各区社保協が“決起集会”を開催

『高い国保料、もう限界』 “10万筆署名”にとりくもう



長田区と須磨区社保協が商店街をパレード(左)
東灘区と灘区社保協が学習会を開催(下)

長田区民&須磨区民 「怒ったでえ！」集会に90人

協会が加盟する兵庫県社会保障推進協議会神戸市協議会は、国保改善運動の大きな柱として「国民健康保険料の引き下げ」「後期高齢者医療制度廃止」を求める「10万筆」署名運動を、この4月から開始。6月には各地で相談会を予定しており、今後の取り組みに向け各区社保協では決起集会やパレードが行われた。

長田区・須磨区社保協は4月30日に新長田勤労市民センターで、合同集会を開催し90人の市民が参加。神戸市国保料の引き下げや、後期高齢者医療制度の廃止などを求めるアピール文を採択した。集会後は、商店街をパレードし「払える国保料に」などと訴えた。



東灘区・灘区社保協で決起集会

東灘区・灘区社保協は4月24日に、神戸医薬研究所会議室で10万筆署名決起集会を開催し、30人が参加。協会から口分田勝神戸支部幹事(東灘区社保協会長)があいさつし、「秋の市長選挙は市政を変える大きなチャンス。署名や相談会を成功させ、社会保障の充実を求めよう」と訴えた。

ストップ神戸空港の会総会

借金返済に市税の投入許すな



30人の市民が参加し神戸空港や市民病院移転問題について議論

市民の反対を押し切って開港された神戸空港は今年の2月16日で3周年を迎える。「ストップ神戸空港の会」(代表は武村義人副支部長)は、5月14日に勤労会館で第8回総会を開催し市民ら30人が参加した。

同会の北岡浩事務局長は「神戸空港は市や県の補助金などで赤字の穴埋めをしている」とし、2009年度から始まる1982億円の借金返済について「それを賄うはずの土地売却は進んでいない」と解説。

「借金返済に市税投入を許さない運動が必要」と訴えた。

会場からは海上アクセスの現状や、市の財政計画について質問が出された。

記念講演は武村義人先生が神戸中央市民病院の新築移転問題について報告。「新たな病院は300床削減で救急医療に対応できなくなること、75%が個室でお金がない市民は入れなくなる可能性がある」ことを解説した。

投稿を募集しています

支部ニュースへの投稿を募集しています。日常の診療にかかわることや主張など、テーマは問いません。医科・歯科連携のアイデアなど、お寄せください。



FAX 078-393-1802 または e-mail tamura@doc-net.or.jp 担当:田村まで